

## 設備紹介(JKA補助) – 振動試験機



平成26年度公益財団法人JKAの自転車等機械工業振興補助事業により「振動試験機」を更新しました。本装置は、機械製品・電子製品における環境耐久試験の一種で、製品に対して振動を与え、耐久性の確認や、共振する周波数の確認を行います。「サイン波」、「ランダム波」、「ショック波」などの波形での振動が可能で、振動の周波数や加速度、振幅などの条件を任意に変更できます。これにより、JIS等各種規格に対応した振動試験や、製品の故障や誤動作の検証に利用できます。信頼性・安全性の高い高品質な製品開発に寄与するために、必須となる試験装置です。

### 概要

品名：振動試験機

最大加振力：サイン/16kN、ランダム/12.8kNrms ショック/40.0 kN0-P

振動数範囲：(DC) ~3000Hz (垂直補助テーブルを用いた場合300Hzまで、水 平方向は2000Hzまで)

最大加速度：サイン/1067m/s<sup>2</sup>、ショック/1471 m/s<sup>2</sup>0-P

最大速度：2.3m/s

最大搭載重量：200kg (試験品、可動部、治具、ボルト等を含む重量)

最大振幅：56mm p-p

加振方向：上下および水平方向

実施可能試験：サイン波試験、ランダム波試験、ショック波試験、任意波形試験

### 付属品

水平加振テーブル：600mm×600mm

垂直補助テーブル：600mm×600mm

電子部品用高周波治具：150mm×150mm×150mm

制御・計測用加速度センサ：1軸、3軸センサ

### 応用例

・車載用製品、電気・電子機器、情報通信機器、精密機器、輸送用機器におけるJIS等の規格に対応した各

種振動試験 (サイン、ランダム、ショック)

・機械・電子・電子製品の振動による故障原因の検証

・物流中における段ボール等梱包物内の製品の破壊・破損の検証

試験試料の大きさや重量、使用する治具により振動可能な条件は変わります。振動試験をご依頼される際には、担当(機械金属産業部 機械金属グループ)までご相談ください。

※ 上記性能は無負荷時における性能です。試験する試料の重量、大きさ、加振条件により、最大能力

は異なります。また最大搭載重量は振動試験中心部に重心があると仮定した場合です。

[機器紹介のファイルダウンロード \(PDF 365KB\)](#)



掲載日付: 2014年10月30日